

令和 4 年度 改善実施状況報告書【研究】

推進責任者：研究・グローバル戦略担当理事

改善を要する点			改善計画 (様式2の改善計画の内容)	計画の実施主体	計画の 実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和 5 年 3 月	研究倫理教育（コンプライアンス教育のeラーニング）の受講状況は、令和4年3月時点で研究者受講率98.8%を達成しているが、科研費保有の有無を問わず100%の受講を達成すべきである。（事務職員は100%達成）また、研究不正防止にかかる誓約書の提出率も全体で94.5%にとどまっているため、研究倫理教育受講と併せて誓約書提出も100%を達成すべきであると認識。	文部科学省から各研究機関に提示された「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」及び「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」においても、研究者及び研究費の管理運営等に関わる者の研究倫理意識の向上や遵守事項の認識等を目的とした研究倫理教育受講・誓約書提出が求められているため。	全学会議を通した呼びかけと合わせ、受講状況のチェック体制をさらに強化し、統括管理責任者から各コンプライアンス推進責任者への依頼及び各コンプライアンス推進責任者による指示（未提出者に対する個別指導等）の下、100%達成を目指す。	研究推進課	<input type="checkbox"/> 検討中	研究倫理教育の受講状況は、令和5年3月時点で事務職員及び研究者ともに受講率100%を達成している。また、研究不正防止にかかる誓約書の提出率は、令和5年3月28日時点で99.7%であるが、3月10日付けでコンプライアンス推進責任者へ未提出者への指示を依頼しており、令和5年3月31日までに100%達成予定である。
					<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	
					<input type="checkbox"/> 対応済	
					<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和 5 年 3 月	<科研費の応募について> 科学研究費補助金への応募は、(R3)718件～(R4)725件と増加しており適切な応募状況を維持していると判断しているが、第4期中目・中計において、第3期を上回る常勤教員の科研費保有率55%（第3期・R3は50.4%）を目標値としたことによる。	第4期中目・中計において、第3期を上回る常勤教員の科研費保有率55%（第3期・R3は50.4%）を目標値としたことによる。	研究担当理事と部局長との間で科研費保有率向上に向けた意見交換を実施し、未応募者や連続不採択者に対する対策等について各部局での対応を求める。また、連続不採択に対しては不採択理由や希望する支援を問うアンケートを実施し、直接支援を行う。	研究推進課	<input type="checkbox"/> 検討中	意見交換の結果、各部局において対象者に個別に科研費の応募を推進する方向性が示された。また、連続不採択アンケート回答者の内希望者に対し面談による支援を実施した。上記の結果、応募件数は（R5）799件と大幅に増加した。
					<input type="checkbox"/> 対応中	
					<input checked="" type="checkbox"/> 対応済	
					<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和 5 年 3 月	<授業開放について> 授業開放については、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実施を中止しており、改善点として認識。現在は、令和5年度からの実施を目指し検討を行っている。	社会のニーズに応じた生涯学習支援の企画・提供が実施されているか確認する。	新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢の変化等をふまえ、令和5年度中の実施を目指し、授業開放のあり方を含めて検討する。	熊本創生推進機構 研究・社会連携部	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中	
					<input type="checkbox"/> 対応中	
					<input type="checkbox"/> 対応済	
					<input type="checkbox"/> その他 ()	